

KOKURA CASTLE

小倉400年の動乱絵巻

A Picture Scroll of Kokura Castle's
Turbulent History over 400 Years

小倉城



小倉城公式HP



HISTORY

◆小倉城をとりまく歴史

関門海峡に面した小倉は、
陸海の交通の要衝として、古くから重視された地でした。
この地を押さえるために築かれたのが小倉城で、
様々な攻防の歴史を繰り返してきました。

細川忠興の本格築城

小倉城の歴史は、戦国末期(1569年)、中国地方の毛利氏が現在の地に城を築いたことから始まります。その後、高橋鑑種や毛利勝信が居城し、関ヶ原合戦の功勞で入国した細川忠興によって、1602年から約7年の歳月をかけて大規模な築城が行われ、城下町が建設されました。

忠興は城下町繁栄策として、商人や職人を集めて商工業保護政策を実施。外国貿易も盛んにし、同時に祇園祭も誕生させました。

小笠原忠真、九州諸大名監視役で入国

細川忠興の後を継いだ細川忠利が熊本に転封した後は、播磨国明石から細川家とは姻戚関係にある譜代大名の小笠原忠真が、1632年に入国。小倉藩・小笠原家は、將軍・徳川家光から九州の諸大名を監視する特命を受けていました。

江戸時代を通じて、小倉は九州各地に通ずる街道の起点として重要な地位を確立し、同時に小倉城は一層充実して、城下町も繁栄しました。

第5代藩主小笠原忠苗の時期には、城内の下屋敷に泉水を持つ回遊式庭園もつくられています。しかし、1837年に火災によって本丸が全焼。2年後に再建されましたが、天守は再建されませんでした。

幕末期になると、小倉は長州藩を攻める幕府の拠点となりましたが、幕府軍の足並みは揃わず、かえって長州藩軍に攻め込まれて苦戦。小倉藩は孤立無援となって、ついに1866年8月1日、自ら小倉城に火を放って戦線を後退せざるをえませんでした。

天守閣再建

1871年の廃藩置県の後、小倉城は軍用地となりました。1877年の西南戦争の際には、小倉城内に駐屯していた歩兵第14連隊が、乃木希典に率いられて出征しました。

その後は、第12師団の司令部や陸軍造兵廠が城内に置かれました。太平洋戦争後は連合軍軍に接収されましたが、1957年に解除され、1959年市民の熱望によって天守閣が再建されました。

小倉城の天守は「唐造り」と呼ばれ、4階と5階の間に屋根のひさしがなく5階が4階よりも大きくなっているのが特徴的です。また、城の石垣は切り石を使わない野面積みで、素朴ながらも豪快な風情にあふれています。

KOKURA CASTLE

小倉400年

小倉の「コト・ヒト・モノ」を扱う、エンターテインメント施設

大迫力の小倉城シアター!



1602年(慶長7年)に、細川忠興公によって築かれた小倉城。築城と城下町の整備から、昭和の再建まで、小倉城の歴史を映像でたどります。

小倉城下のにぎわいを体感!



流鏝馬体験や小倉城をテーマとしたクイズなど、さまざまな展示アイテムで楽しく遊びながら江戸時代の小倉城下の暮らしぶりを体験できます。

◆小倉城略年譜(概要)

慶長5年

1600

関ヶ原の戦い

慶長7年
1602

大規模な
小倉城を築城。
居城とする。

小倉細川藩初代城主

細川 忠興 [1563~1645]

関ヶ原の合戦後小倉に入国し、唐造りと呼ばれる全国唯一の城を築城。能や茶道にも精通した文化人で、「利休七哲」の一人。巖流島の決闘が行われたときの藩主。

KOKURA
CASTLE

History

細川 玉 (ガラシャ)

[1563~1600]

細川忠興の夫人(明智光秀の娘)で、戦国時代に非業の死を遂げる。忠興が徳川家康の上杉征伐に出陣中、石田三成より人質への要求があるが拒否。キリスト教信者のため自決できず家臣の介錯により命を絶つ。その後、小倉に入国した忠興により小倉で盛大なミサが行われたと言われている。

慶長17年

1612

宮本 武蔵・
佐々木 小次郎
巖流島の戦い(舟島)

宮本 武蔵

[1582~1645]

小倉藩(細川藩時代)の剣術指南役だった佐々木小次郎と巖流島にて決闘を行ったことが有名。養子の伊織が小笠原藩の家老だったこともあり、武蔵の生涯で最も長い7年間を小倉で過ごす。「吾家は小笠原家に遺し、吾技は細川家に遺す」と語ったと伝えられる。

元和6年

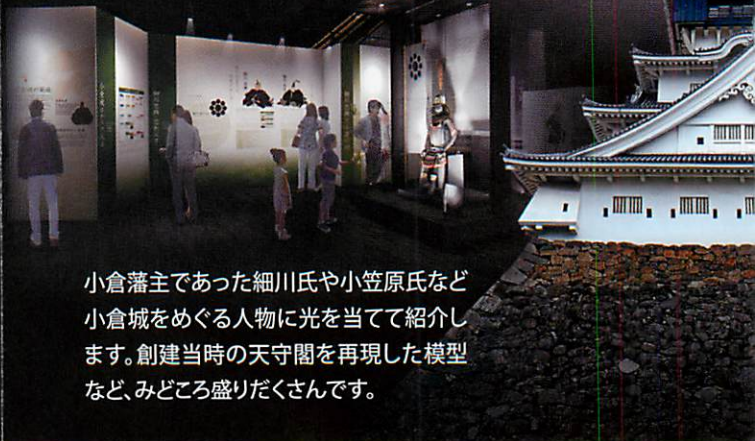
1620

忠興は隠居(中津城へ)



KOKURA
CASTLE

小倉城ゆかりの 細川家、小笠原家を紹介!



小倉藩主であった細川氏や小笠原氏など小倉城をめぐる人物に光を当てて紹介します。創建当時の天守閣を再現した模型など、みどころ盛りだくさんです。

小倉

の動乱絵巻

エンターテインメント・城ミュージアム。

小倉城



「下客万米」
迎え虎
送虎
「麗虎招福」



天守閣にて
展示中!

小倉城が焼失した慶応2年
寅年(1866年)に因って描
かれた雌雄一対の「迎え虎」
(雄虎)と「送虎」(雌虎)。
その日本最大級(各・高さ
4.7×幅2.9m)の迫力ある麗
筆をぜひご鑑賞ください。



3F

宮本武蔵と 佐々木小次郎を紹介!

小倉といえば「宮本武蔵と佐々木小次郎」。そのミステリアスな生涯を紹介していきます。小次郎になりきって武蔵と写真撮影ができます。

佐々木小次郎の
刀レプリカ

4.5
F



エレベーターで一階から展望スペースへ!

4階は企画展や市民の作品展などが開催できる展示空間となっています。また、5階は、往時の内装をイメージした造りになっております。

寛永9年
1632

細川忠利
肥後国に転封。
明石城主
小笠原忠真入国
(15万石)



小倉小笠原藩初代城主
小笠原 忠真 [1596~1667]

徳川家康のひ孫にあたる。播磨国、明石10万石を経て豊前、小倉に15万石で入国。黄檗(おうばく)僧・即非(そくひ)を招き、黄檗宗の寺院を創建し、この地方に黄檗文化を広める。

天保8年

1837

城内塩切場より出火、天守閣ははじめ本丸焼失。(天保10年再建天守は建てず)

元治元年

1864

幕府の長州征伐令(第2次)

慶応元年

1865

幕府の長州征伐令(第3次)藩主死す、喪を極す。豊千代丸4才

慶応2年

1866

長州藩との戦闘。小倉城炎上。企救郡境に退く。

昭和34年

1959

小倉城天守閣再建

平成21年

2009

小倉城天守閣再建50周年記念
小倉城オリジナル
 Mascottキャラクター
「とらっちゃん」誕生



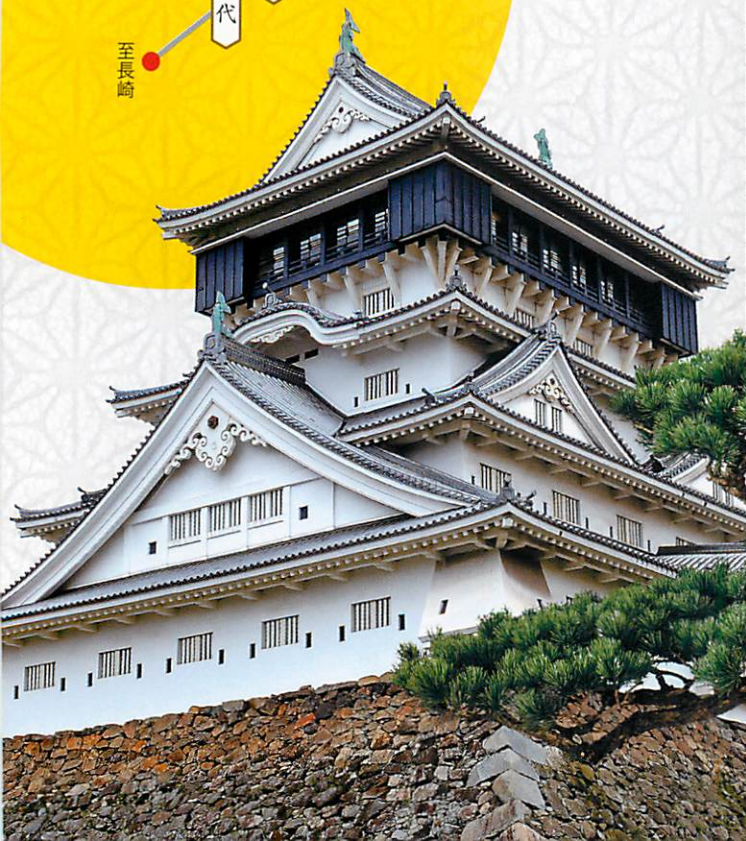
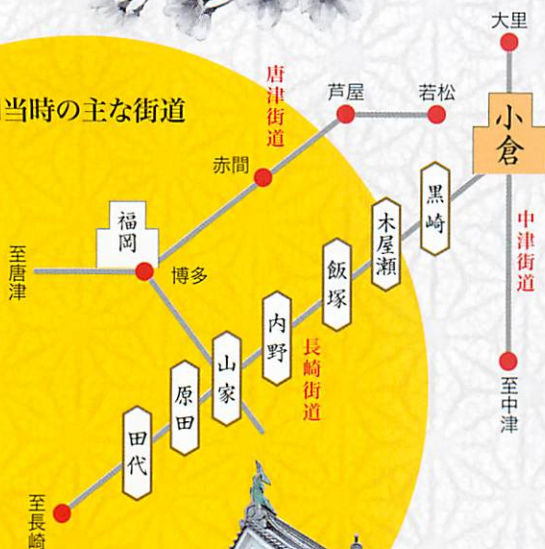
【とらっちゃん】

平成31年
2019

小倉城内部
全面改装

KOKURA CASTLE

■当時の主な街道



PLACE STAMP HERE

INFORMATION

小倉城

TEL:093-561-1210

料金 一般350円、中高生200円、小学生100円/団体割引(30名以上)2割引
休館日 年中無休
開館時間 4月～10月 9:00～18:00/11月～3月 9:00～17:00(入館は30分前まで)

小倉城庭園

TEL:093-582-2747

料金 一般350円、中高生200円、小学生100円/団体割引(30名以上)2割引
休館日 年中無休
開館時間 4月～10月 9:00～18:00/11月～3月 9:00～17:00(入館は30分前まで)

松本清張記念館

TEL:093-582-2761

料金 一般600円、中高生360円、小学生240円/団体割引(30名以上)2割引
休館日 年末12月29日～31日
開館時間 9:30～18:00(入館は30分前まで)

3施設共通入場券のご案内

料金は、一般 700円、中高生 400円、小学生 250円です。
お求めは「小倉城」「小倉城庭園」「松本清張記念館」でどうぞ。

お問い合わせ **小倉城**

〒803-0813 福岡県北九州市小倉北区城内2番1号
TEL:093-561-1210 FAX:093-561-5246